

令和 7 年 1 2 月 4 日  
健康部生活衛生課

## 江東区旅館業法施行条例の見直しについて

### 1 見直しの背景

旅館業法の規制緩和、インバウンド需要の増加に伴い、戸建て住宅や集合住宅の1室を利用した小規模宿泊施設の営業が増加し、周辺住民の生活環境に影響を及ぼす事案が生じている。地域の生活環境確保の観点から条例を改正し、規制の見直しを図る。

### 2 規制見直しの概要

#### (1) 目的および基本理念の明文化

旅館業法の目的である旅館業の業務の適正な運営や旅館業の健全な発達、宿泊者や区民への安心・安全の確保という観点を踏まえ、条例の目的を明確化する。併せて、地域の生活環境との調和や地域コミュニティの活性化の視点を加えた基本理念を定める。

#### (2) 営業従事者等の勤務体制の整備

現状では営業者の遵守事項として、宿泊者の滞在時間内における、営業従事者等による徒歩にておおむね10分程度の駆け付け体制を認めているが、災害時や緊急時のより迅速な対応のため、施設内への常駐を義務化する。

#### (3) 周辺との調整に関する規定の整備

営業者は、開設予定の旅館・ホテル等が公道に接していない場合、公道から施設に至る土地の使用に関して、所有者や管理者と事前に調整する規定を新設する。

#### (4) 施設管理体制の整備〔既存施設にも遡及適用〕

既存営業施設も対象に加え、施設への連絡先の掲示と毎日の管理状況の確認と記録の保管を義務化する。

#### (5) 他法令の遵守に関する規定の整備

施設の運営にあたり必要な法令に違反することなく、施設の適正な管理に努めることを営業者の遵守事項として規定する。

(6) 施設常駐義務違反に対する規定の整備

施設常駐義務の違反者には、措置命令を経たうえで罰則規定（5万円以下の過料）を設ける。

**3 今後のスケジュール**

令和7年12月1日～19日 区民への意見募集

令和7年12月25日 第3回検討委員会

（条例改正内容決定）

令和8年3月 区議会に改正条例案を提出

令和8年7月1日 改正条例施行